

外国語活動学習指導案

廿日市市立津田小学校
指導者 正木 秀明
ALT クリスティン デイビス

- 1 日 時 平成26年1月16日(木) 13:20~14:05
- 2 学 年 第6学年(30名)
- 3 単元名 Lesson 8 「What do you want to be?」～夢宣言をしよう～
(Hi, friends!2 P38~40)

4 単元について

○本単元は、“Hi, friends!2”の最後の単元であり、小学校の外国語活動のまとめとして「将来の夢」を題材にしている。本単元の最後には、各児童に将来どんな職業に就きたいかを発表させる「夢宣言」という活動を設定している。2学期の総合的な学習の時間の成果を生かし、未来に希望をはせた宣言発表の機会ともなる単元である。また、クラスのみんなの夢を尋ねたり答えたりしながら交流すること、世界の子どもたちの夢を聞く活動を通して、様々な夢を持つ同年齢の子がいることにも気づかせたい。さらに、英語のさまざまな職業を表わす語にふれ、日本語との語の成り立ちの共通点などを見つける活動を通して、言葉の面白さにも気づかせたい。

○本学級は、外国語の授業を楽しみにしている児童が多い。授業の中で行われるいろいろな活動を楽しみにしている。11月に行った児童のアンケートの結果は次の通りである。

	質問内容	肯定的回答
1	外国語の授業は好きですか？(楽しいですか)	100%
2	授業中のゲームや発表の時自分から進んで活動したり友だちに話しかけたりしていますか？	89%
3	ALTの先生の発音のまねをしたり、みんなに聞こえる大きさの声で英語を話したりしていますか？	86%
4	学習した英語を使おうとしたり、先生や友だちの話す英語を一生けん命聞こうとしていますか？	97%
5	授業の時、日本と外国の文化の違いに気づくことがありますか？	86%
6	もっと外国のことについて話を聞いたり、本やパソコンで調べたりしてみたいですか？	79%

ALTの話を生懸命聞いたり、学習していないことばを進んで質問して使おうとしたりするなど、学習への意欲は高い。しかし、慣れない外国語を使ってみんなの前で話したり、友だちに話しかけたりすることに苦手意識や抵抗感のある児童も多い。英語の発音に自信がないと感じている児童も見られる。しっかり自分のものにできる活動の場の設定を行い、児童が安心して大きな声で表情豊かに楽しく会話できるように、よい姿をその場ですぐに評価していくようにしている。

○本単元では、英語で発表する「夢宣言」を目標に進めていく。2学期の総合的な学習の時間と関連させ、どのような職業に就きたいか、それはなぜか、どんな活躍がしたいか、の3点を取り上げることで、交流の場で自信を持って発表したり聞き取ったりできるように取り組みたい。また、英語のさまざまな職業を表わすカードを提示することで、様々な夢を持つ他国の同年齢の子の夢の紹介、日本語との語の成り立ちの共通点などを見つける活動に関心を持てるようにしたい。また、ゲームを通して繰り返し聞いたり話したりする場を設定し、表現に慣れ親しむことができるよう工夫したい。発表に向けての練習も、友だちや先生からの肯定的評価の入るコミュニケーションを楽しんで行えるように工夫していきたい。

5 単元の目標

- 積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。
- どのような職業に就きたいかを尋ねたり，答えたりする表現に慣れ親しむ。
- 世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることを知り，英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して，言葉のおもしろさに気付く。

6 単元の評価基準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手意識をもって自分の将来の夢について紹介している。	職業を表す語を聞いたり言ったりしている。就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。	世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることや，職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。

7 指導と評価の計画（全5時間 本時第3時）

【L】Liston 【P】Play 【C】Chant 【A】Activity

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準（方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業の言い方を知る。 ○「ジェスチャークイズ」ジェスチャーを見て，何の職業か当てる。 ○「キーワードゲーム」 ○「ビンゴゲーム」 ○「ポイントィングゲーム」職業を表す語を聞いて，ペアでゲームをする。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業を表す語に関心を持っている。 <行動観察・振り返りカード>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 ○「カード取りゲーム」 ○「ラッキーカードゲーム」 【L】「だれの夢か，考えよう。」音声教材を聞いて登場人物の就きたい職業とその理由を聞き取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。 <行動観察・振り返りカード>
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業の言い方に慣れ親しみ，職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。 【C】“What do you want to be?” ○「ミッシングゲーム」職業を表す語の特色を知り，日本語の職業の特色についても考える。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。 <行動観察・振り返りカード>

4	<ul style="list-style-type: none"> ・就きたい職業について，尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 【C】“What do you want to be?” ○「ステレオゲーム」 ○「チェンゲーム」グループで列になり，就きたい職業を伝えていく。 【P】「友だちに夢についてインタビューしよう。」 【A】「あなたの『夢宣言』をしよう。」 				<ul style="list-style-type: none"> ・就きたい職業について尋ねたり答えたりしている。 <行動観察・ノート・振り返りカード>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気付き，相手意識をもって自分の夢を紹介しようとする。 【C】“What do you want to be?” 【A】「あなたの『夢宣言』をしよう。」グループ対抗で，クイズ形式で就きたい職業を紹介する。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識をもって自分の夢を紹介している。 <行動観察・振り返りカード> ・世界には様々な夢をもつ同年代の子どもがいることに気付いている。 <行動観察・振り返りカード>

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・様々な職業の言い方に慣れ親しみ，職業を表す語について英語と日本語の成り立ちの共通点に気付く。

(2) 本時の評価規準

- ・様々な職業の言い方に慣れ親しみ，職業を表す語について英語と日本語の成り立ちの共通点に気付いている。

(3) 言語活動を通して育てたい力

- ・習った表現を使って，積極的に英語を話したり聞いたりしようとする力。

(4) 準備物

教師用絵カード(職業カード)，デジタル教材，振り返りカード，巻末児童用絵カード(職業)，

(5) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	◎評価規準[観点] (評価方法)	評価言
1 挨拶をする。 “Good afternoon.” “Good afternoon.” “How are you?” “I’m ~.”	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の状態を自分で表現させ，HRT と ALT で同時に児童に聞いていく。 (HRT・ALT) 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>【自己決定】 自分のことばであいさつをする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でしっかり自分のことが表現できたね。
2 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を表す語の英語と日本語を比べてみよう。 (HRT) 		

<p>3 音声教材を聞いて、教師用絵カードを見ながら言う。別の職業に替えて言う。</p> <p>【Let's Chant】 p. 40 “What do you want to be?”</p> <p>4 ミッシングゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用絵カードで、復唱する。 ・テンポや声の大きさを変えながら一緒に言う。(ALT) ・教師用絵カード6～8枚を黒板に貼り、なくなったカードの職業を言わせる。(ALT) ・カードを語尾の同じ物同士に分けて掲示する。(ALT) 		<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で言えるのがとても良いね。
<p>5 日本語と英語の職業を表す語を比べる。</p> <p>(1) 日本語の職業を表す語を書き、成り立ちを考える。</p> <p>(2) 英語の職業を表す語の語尾に注目させ、気づきを発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班で話し合わせる (HRT) ・日本語の職業を表す語の語尾について考え、「家」「士」「者」などがつくことを発表する。(HRT) ・英語の語尾に注目させ、同じもので分類する。(HRT・ALT) ・日本語の意味とは直結しないが、語尾に er・ist・などがつくことから、成り立ちの共通点に気づかせる。(HRT) 	<p>【共感的理解】 友だちと話し合う中で考えを認め合い共有し合う。</p> <p>・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付いている。(行動観察) [気]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語を比べて、共通点を見つけることができたね。 ・相手の顔を見て話ができているね。
<p>(3) ゲームを行う。</p> <p>① 語尾の同じものどうしを3つずつ集める。</p> <p>② 発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのやり方が分かり楽しく参加しているかを確認しながら様子を把握し、声かけをしていく。(HRT・ALT) 		<p>【自己存在感】 自分で選んだカードを発表する。</p>
<p>6 本時の振り返りをする。振り返りカードに記入する。挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の良かった点を評価していく。(HRT) (HRTはコミュニケーションについて、ALTは英語への慣れ親しみについて評価していく。) 		<ul style="list-style-type: none"> ・What do you want to be? I want to be ○○.を使っ てうまく言 えるようにな ったね。

言語活動

9 板書計画

外国語活動 Lesson 8 「夢宣言」をしよう
 め 職業を表す語の英語と日本語を比べてみよう

CLEAR VOICE
NICE SMILE
GOOD GESTURE

A : What do you want to be?
 B : I want to be ○○.
 C : Good dream!

Good dream!
 Nice dream!
 Fantastic dream!

Let's Chant!

A : What do you want to be?
 B : I want to be ~.

artist
画家

teacher
教師

考えてみよう!

英語	職業を表わす言葉	+	er	ist	・英語も日本語も、 職業を表わす言葉 の語尾に言葉をた して、職業の名前 になっている。
日本語	職業を表わす言葉	+	家	士	

〈参考〉

スペル、発音上、という形骸的な理由より、意味・内容に応じて使い分けられます。使い分けは以下のようになります。

1. 「-ist」: 「～する人」「～主義者」「～家」を表します。

例: cyclist (サイクリスト) 「サイクリングをする人」

socialist (ソーシャリスト) 「社会主義者」

pessimist (ペシミスト) 「悲観家」

2. 「-ar」: 意味は「～する人」

例: scholar (スカラー) 「学者」

3. 「-er」: 意味は「～に住む人」「～に従事する人」「～の研究者」「他の語尾を持つ名詞の俗化」で使われます。

例: Londoner (ロンドナー) 「ロンドンに住む人」

farmer (ファーマー) 「農業に従事する人」

geographer (ジオグラファー) 「地理学者」

rugger (ラガー) <Rugby 「ラグビー選手」

4. 「-or」: ラテン語起源で特に「-ate」の語尾を有する動詞に付け、「行為者名詞」をつくれます。

例: creator (クリエーター) <create 「創作者」

5. 「-eer」: 「～関係者」「～に従事する人」という意味になります。

例: auctioneer (オークショニア) 「オークション関係者」

engineer (エンジニア) 「技術に従事する人」 = 「技術者」